

# 塩尻市文化財保存活用地域計画について



市民派連合  
かみじょうもと やす  
上條 元康

その他の  
質問事項

- ▼ 山林整備について
- ▼ 野生鳥獣による農作物の被害軽減について

◆文化財を活用した観光振興と地域活性化について

問 地域の中にある文化財も観光資源となり、地域活性化も図れる。人材の育成と自治会への関わり・支援はどう考えるか。

答 歴史文化を巡るウォーキング、地域文化財の保全や伝統芸能等に関する活動などに、「ふれあいのまちづくり事業補助金」などを交付している。人材育成、支援は文化財の継承には欠かせないものであり、多様な人材が携わることで観光振興と地域活性化につながっていくと考えている。  
(文化財課)

◆若者の流出と定住について

問 地方創生をはじめとした、地域活性化を図るためには、若者の定住が必要不可欠になってくる。市長の考えはどうか。

答 若い世代の定住につ

いては、就労や居住環境の充実、結婚、子育てといった若い世代の生活設計に関わる支援、アプローチが必要である。経済等の支援強化を含め、幸福度を高めるよう投資を続け、本市に住み続けたという人生設計をしていただくような、施策立案を進めていく。  
(市長・企画課)

問 雇用の促進や税収の増加が期待される企業の誘致と今後の取り組みについてはいかがか。

答 野村桔梗ヶ原新工業団地は、全区画が売却済みとなった。今後も新たな企業立地の促進に取り組んでいく。  
(産業政策課)



小野家住宅 (いてふや)

# 女性が活躍できる社会について



公明党  
こまつ かつこ  
小松 勝子

その他の  
質問事項

- ▼ 下大門交差点について
- ▼ 大小屋交差点について

◆女性版骨太方針とは

問 主な内容と市の現状や取り組みはどうか。

答 女性活躍と経済成長の好循環、女性の所得向上、女性が尊厳と誇りを持って生きられる社会が3本の柱である。本市の一般市民へのアンケートでは、約6割以上の方が職場での男女の待遇差があるとされている。塩尻市役所の女性管理職登用率は19.4%。女性相対率は前年比64.9%増加している。令和6年度からの第5次塩尻市男女共同参画基本計画を策定し、目標とする内容や数値を検討する。  
(市長・社会教育スポーツ課)

◆子宮頸がん撲滅への取り組みについて

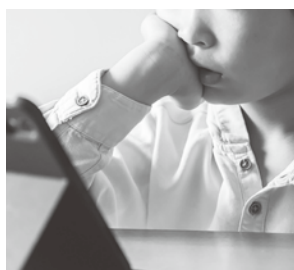
問 HPVワクチン接種の積極勧奨が行われなかった世代のキャッチアップ接種が求められているが、状況はどうか。

答 対象者に個別通知をしているが、接種率は4.3%に留まっている。令和6年度はキャッチアップ接種の最終年度になるため、わかりやすい個別通知を行い周知を図る。  
(健康づくり課)

◆子どもの悩み相談について

問 タブレット端末を使ったSOS発信の考えはないか。

答 児童生徒の心や体調の変化の把握、匿名での相談機能を併せ持つアプリケーションによる実証研究を、本年10月から、指定する学校において実施するとともに、相談体制について検討する。  
(教育総務課)



タブレットで相談